

2017年9月 5日

報道関係各位

公益財団法人 国際高等研究所

国際高等研究所「けいはんな“エジソンの会”」 第14回(2017年度6回) 会合の開催について

公益財団法人国際高等研究所(木津川市、理事長 立石義雄、所長 長尾真)は、けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するための立地機関によるコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、「けいはんな“エジソンの会”」を開催しています。

具体的な「オープンイノベーション」の成功事例を造り込むだけでなく、けいはんな学研都市のコアとなる科学技術ドメインを確立することで、世界をリードするサイエンスシティを目指しています。この度、第14回会合を下記の通り開催いたします。

【開催概要】

◆日時 9月21日(木) 13:30~19:30

◆場所 国際高等研究所レクチャーホール(木津川市木津川台9丁目3番地)

◆参加者 けいはんな学研都市の立地機関を中心に50名程度

◆プログラム

13:30~14:50 「VR(仮想現実)/AR(拡張現実)の進化と今後の方向性」(仮題)

廣瀬 通孝 東京大学 先端科学技術研究センター 教授

15:00~16:20 「産業にイノベーションをもたらすMixed Reality」

榊原 彰 日本マイクロソフト株式会社 執行役員 最高技術責任者(CTO)

16:30~18:00 インタラクティブ・セッション

18:00~19:30 懇親会

◆参加費 5,000円 ◆定員50名、18歳以上

◆申し込み方法 高等研ホームページ <http://www.iias.or.jp/communication/edison> よりお申し込みください。

※当会合は一般参加者を受け付けております。当会合開催の告知記事のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。また、報道関係者の皆様もご参加いただけます。この機会に是非ご取材いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

報道関係者の参加申し込みについて

別紙返信用FAX用紙もしくはメールにて、9月20日(水)までにご連絡をお願いします。

なお、報道関係者の皆様の参加費については無料です。

(本件に関する問い合わせ先)

公益財団法人国際高等研究所 広報課 森口 有加里

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

TEL: 0774-73-4000 FAX 0774-73-4005 携帯:090-4288-4001

E-mail: kouhou@iias.or.jp

ホームページ: <http://www.iias.or.jp/>

○「けいはんな“エジソンの会”」の目指すところ

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、高等研が知的ハブとしての役割を果たすとともに、立地機関の研究者や技術者のコミュニティを形成し、具体的な「オープンイノベーション」の成功事例の確立に寄与することを目指しています。

取組みの核となる科学技術シーズの領域を人工知能～AI とし、2017 年度からは、AI について具体的な出口を見据えた研究開発を実践するために必要な内容を掘り下げて提案していくことに主眼を置き、研究機関や企業に属する様々な立場にある方々が、自ら AI を中心としたテクノロジーを活用し、具体的な製品、サービスを生み出すことができるようになるためのテーマ設定をしていきます。

具体的には AI とそれを取り巻く技術の最新動向を掘り下げて解説する「テクノロジー」編と、様々な分野における AI を駆使した最先端のソリューションや AI の活用に係る課題を扱う「システム・社会」編から、テーマを厳選してお届けします。AI を中心とした新たなテクノロジーがどのように活かされ、どのように新たなエコシステムが切り拓かれるのか、様々な分野の研究者や企業の皆様にも大いに参考にしていただけるものと期待しています。

○第 14 回会合の概要

仮想現実（VR：Virtual Reality）、拡張現実（AR：Augmented Reality）は現実環境と仮想空間とを関連付ける新しいテクノロジーですが、これまでのコンピュータと人間とのインターフェースを変革する可能性が高く、適用分野においては医療分野での手術時の 3D モデルの利用や術者の感覚的な体感を共有、共感することによる事前疑似体験に見られるように、人間への新しい出力の在り方そのものを変化させてきました。

テクノロジーの進化により HMD (Head Mount Display) の視野角が大幅に拡大し、加速度計/角速度計を含むセンサがコンパクト化、高性能化し、より現実に近い 3D 画像とインタラクティブにやり取りができるようになりました。それにより、多種多様な分野への企業の参入も始まり、VR/AR は我々の生活に非常に身近な存在となりつつあり、市場の急成長が見込まれています。

第 14 回会合では、VR/AR のテクノロジーの最新状況と適用分野及び今後の展望について、日本バーチャルリアリティ学会の設立に貢献し、会長を務めた後、現在特別顧問を務められている廣瀬通孝先生に、テクノロジー面に加え、新たに心理学的手法を活用する観点からご説明をいただきます。

また、日本マイクロソフト株式会社の榊原彰氏より、コンピュータで作上げた仮想空間と現実の世界を融合した「AR/VR を超える Mixed Reality（複合現実）」を実現することにより、人間とコンピュータとの新たな関係がどのように構築され、どのように展開されていくかについて、社会や生活や仕事にイノベーションをもたらす各種事例を交えながら説明していただきます。

VR/AR における先進事例と今後の展望に触れていただくことによって、AI を中心とした新たなテクノロジーがどのように活かされ、人間とコンピュータとの新しいインターフェースが従来型産業を如何に革新していくのか、分野を超えた研究者・技術者、企業の様々な立場の皆様にも大いに参考にしていただけるものと期待しています。

○「けいはんな“エジソンの会”」の企画・運営を行う「企画運営委員会」（順不同、16 機関）

- ・ **研究機関**：理化学研究所、産業技術総合研究所、情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、量子科学技術研究開発機構、国際高等研究所
- ・ **教育機関**：奈良先端科学技術大学院大学、滋賀大学、京都情報大学院大学
- ・ **企業**：西日本電信電話株式会社、サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社島津製作所、京セラ株式会社、オムロン株式会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、日本電産株式会社

○オブザーバー（順不同、9 機関）

- ・ 京都府、奈良県、木津川市、精華町、奈良市、国立国会図書館、関西文化学術研究都市推進機構、関西経済連合会、京都産業 21